

いのちとくらしをまもる
防 災 減 災

令和 3年 7月 9日
延岡河川国道事務所

九州中央自動車道 ^{たかちほひのかげ}高千穂日之影道路
^{ひのかげふかすみ}日之影深角 I C ^{ひらそこ}～平底交差点間が令和3年8月21日（土）に開通！
～地域の観光・医療・防災を支援します～

- ^{たかちほひのかげ}○高千穂日之影道路は九州中央自動車道の一部を形成し、国道218号の線形不良箇所の回避、災害発生時の緊急輸送や観光振興、救急医療環境の向上など地域活性化を支援する道路です。
- 国土交通省が権限代行で整備を進めており、この度、^{ひのかげふかすみ}日之影深角 I C ^{ひらそこ}～平底交差点間（延長2.3km）が令和3年8月21日（土）に開通できる見込みとなりましたので、お知らせします。
- なお、詳細な開通時間等につきましては、後日お知らせします。

- 今回の開通により、以下の効果が見込まれます。
- ・ ^{たかちほ}高千穂へのアクセス向上で観光振興を支援します。
 - ・ 救急医療環境の向上で安全な暮らしを確保します。
 - ・ 災害時における信頼性の高いネットワークを確保します。

※今回開通する区間は無料で通行できる自動車専用道路です。

問い合わせ先：

国土交通省 九州地方整備局 延岡河川国道事務所

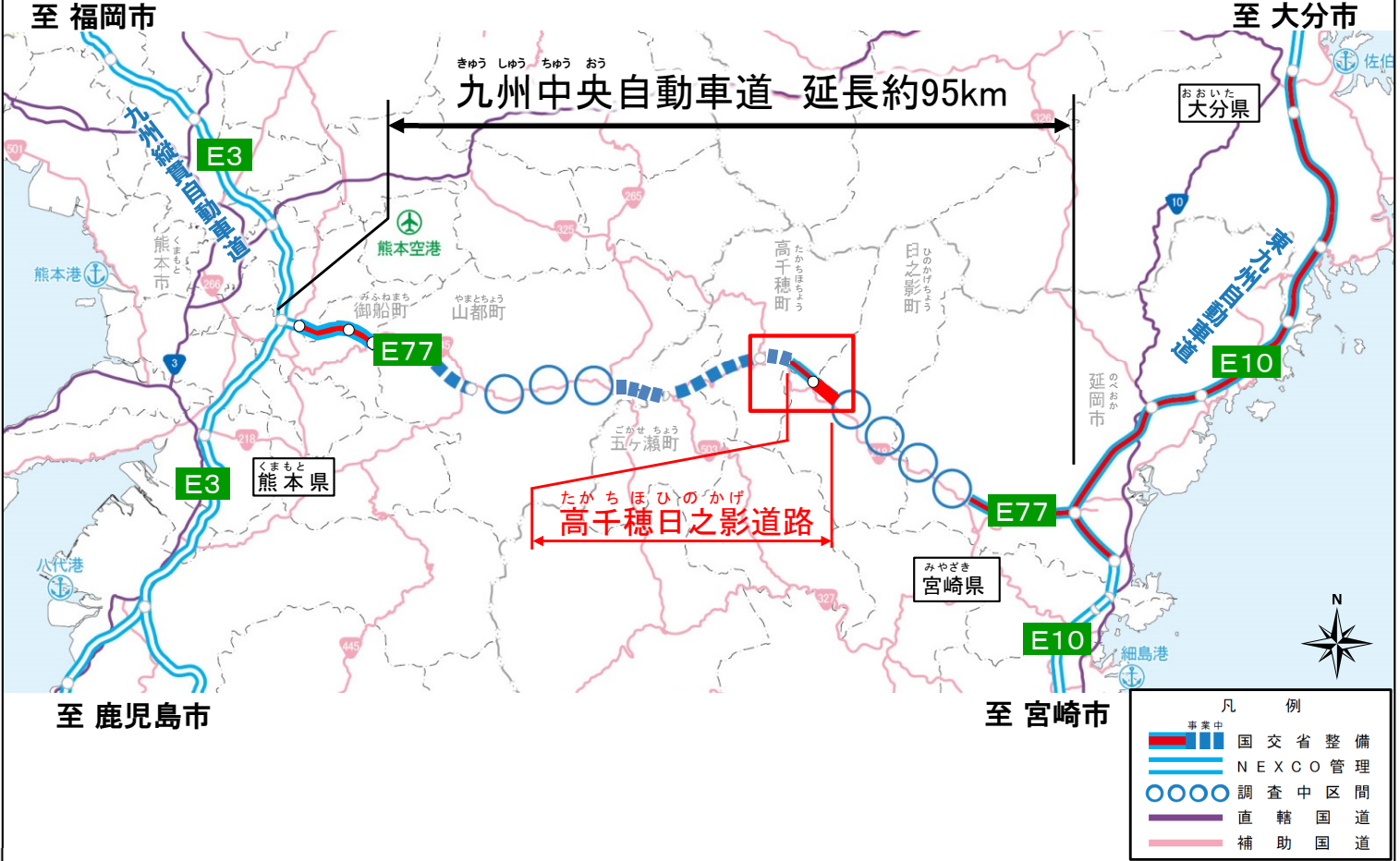
（事業に関すること） 技術副所長 ^{むらた しげお}村田 茂男
（整備効果に関すること） 調査第二課長 ^{きしかわ おさむ}岸川 修
（工事に関すること） 工務第二課長 ^{なかしま ゆういち}中島 勇一

TEL：0982-31-1155（代表）

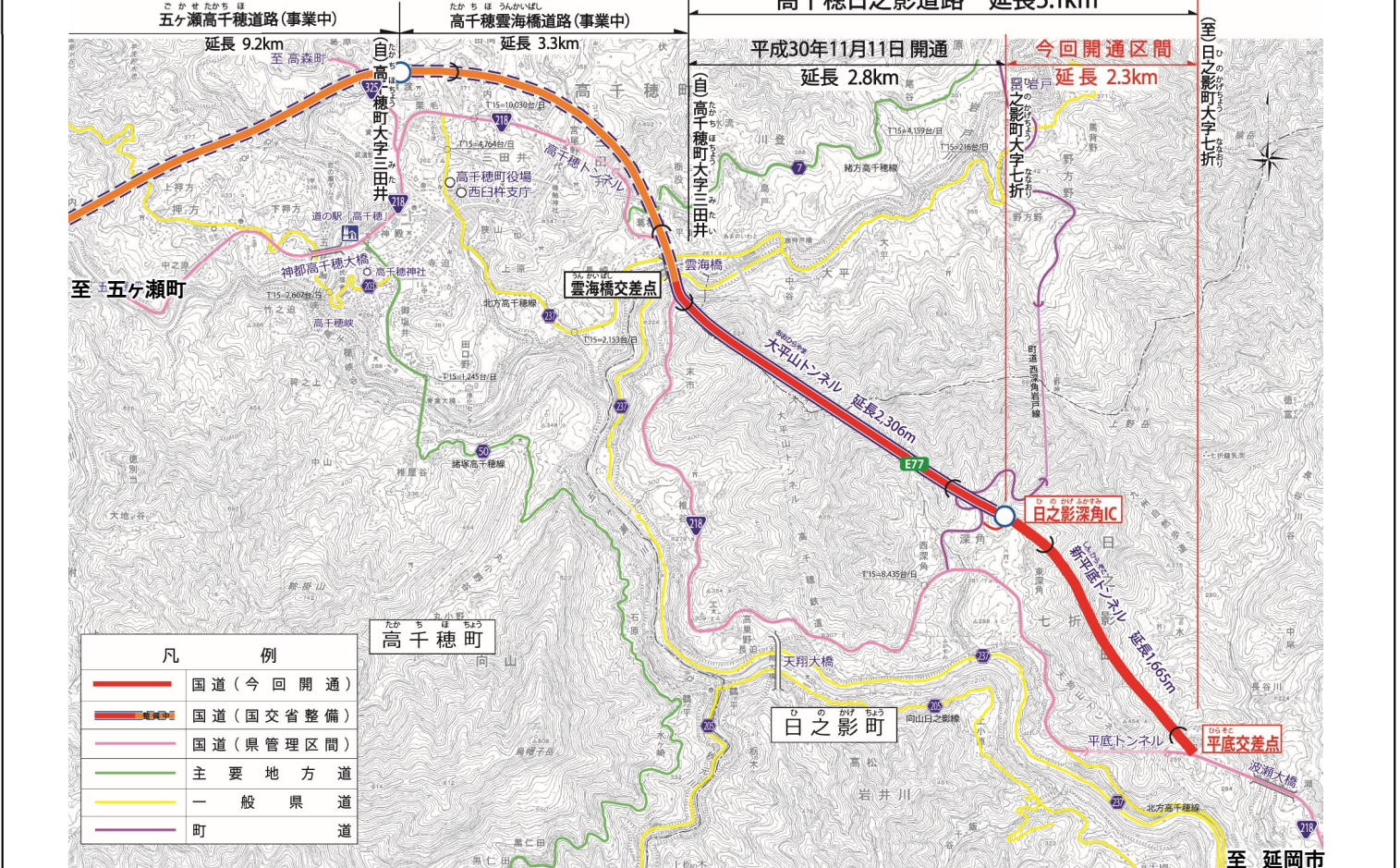
URL：<http://www.qsr.mlit.go.jp/nobeoka/>

きゅうしゅう ちゅうおう ひのかけ
九州中央自動車道 高千穂日之影道路
位置図

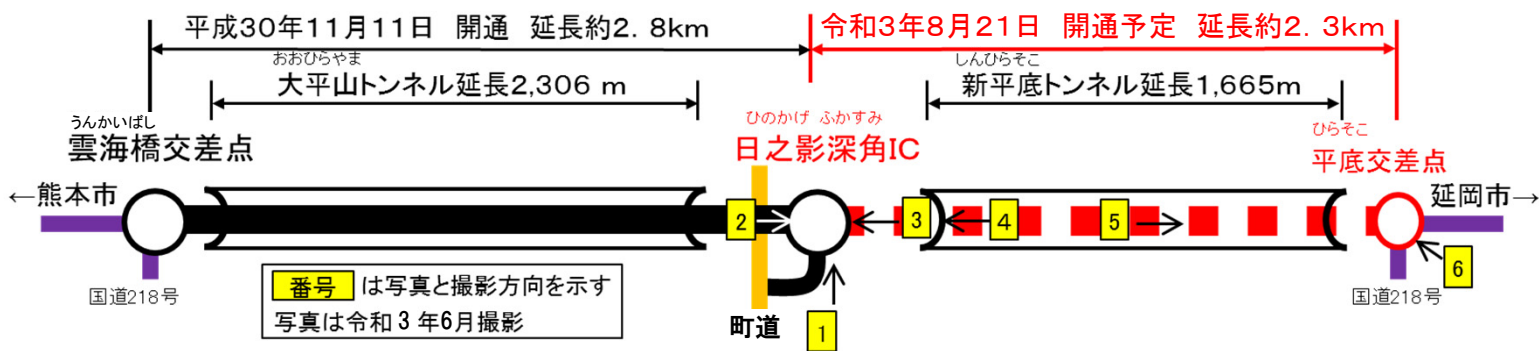
<広域地図>



<位置図>



九州中央自動車道 高千穂日之影道路 工事進捗状況



1 ひのかげふかすみ 日之影深角IC 全景 進捗状況



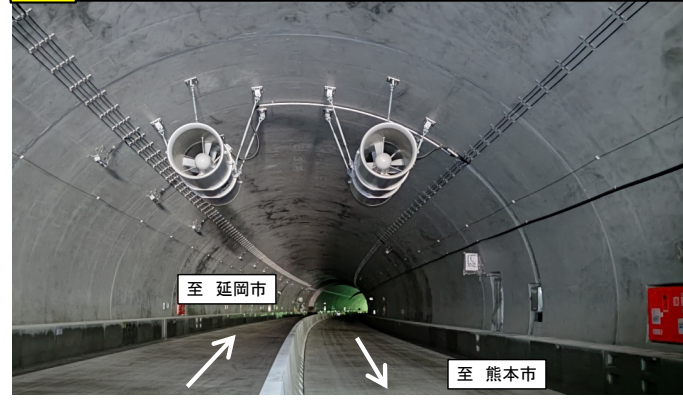
4 しんひらそこ 新平底トンネル 進捗状況



2 ひのかげふかすみ 日之影深角IC付近 進捗状況



5 しんひらそこ 新平底トンネル 進捗状況



3 ひのかげふかすみ 日之影深角IC付近 進捗状況



6 ひらそこ 平底交差点付近 進捗状況



観光活性化

高千穂へアクセス向上で観光振興を支援！

- 高千穂町は高千穂峡をはじめ豊富な観光資源を有し、年間100万人超が訪れる観光地です。
- 高千穂町では、北方延岡道路や高千穂日之影道路の部分開通により延岡からの所要時間が約30分短縮したことにより、大分・宮崎方面からのアクセス性が向上しています。開通後は観光客数が増加し、令和元年には宿泊客数が過去最高の21万人となっています。
- これまでの道路整備による集客力の向上を受け、ホテルの新規開業や観光地周辺の駐車場、中心部の歩道整備などが実施されています。今後、更に九州中央自動車道が整備されることで、熊本・阿蘇方面との周遊観光ルートの形成による観光振興が期待されています。

高千穂町～延岡市間の所要時間(休日)

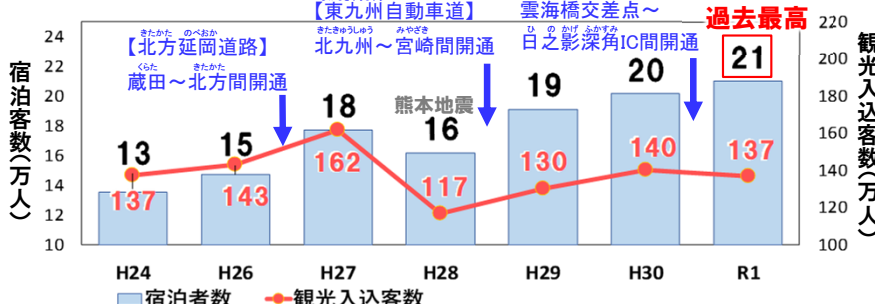
開通前	R218のみ	約68分
北方延岡道路 高千穂日之影道路 (部分開通)	R218+北方延岡道路+ 高千穂日之影道路 (雲海橋～日之影深角IC)	約38分 ← 約30分短縮
全線開通(今回)	R218+北方延岡道路+ 高千穂日之影道路 (全線開通)	約36分 ← 約32分短縮



出典：H17センサス、ETC2.0プローブデータ(休日)R1.4～R2.3



高千穂町の宿泊客数



高千穂町の宿泊客数推移

観光客受け入れ体制を強化する高千穂町



関係者の声

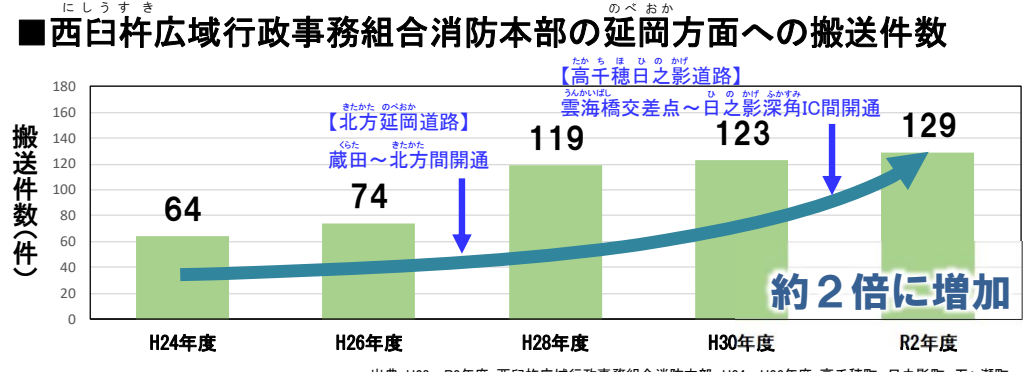
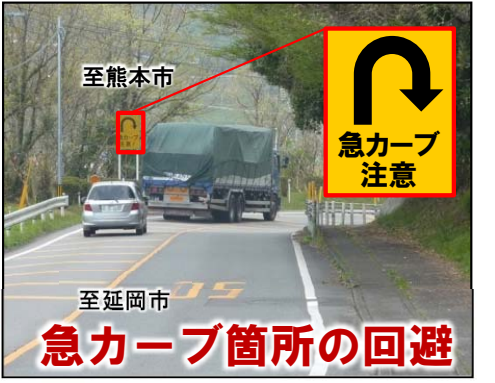
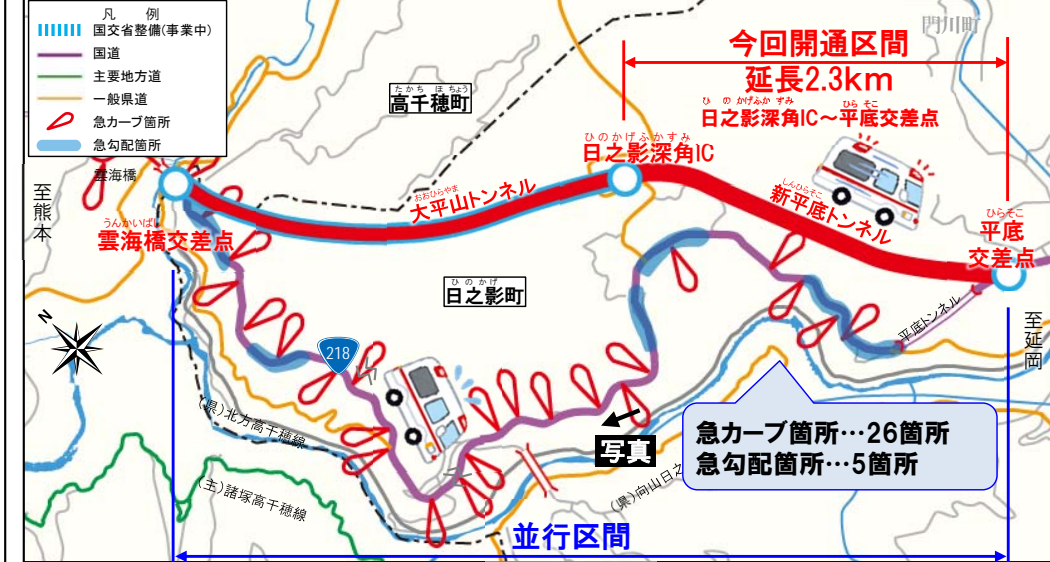
- ・H27年度北方延岡道路の開通、H30年度の高千穂日之影道路の一部開通や新規ホテル開業により、令和元年に宿泊客が過去最高を更新しました。
- ・観光客の増加にあわせ、この数年で駐車場の145台の拡張や歩きたくなるまちづくりを目指し、中心部の歩道整備や観光地の遊歩道整備を行いました。
- ・今後も、駅前町整備事業(天岩戸地区)の整備推進や、新たに鉄道跡地公園化事業を計画しています。

R3.4 高千穂町へのヒアリング調査結果

医療支援

救急医療環境の向上で安心な暮らしを確保！

- 西臼杵地域3町では、九州中央自動車道の整備を見据え西臼杵広域行政事務組合消防本部を高千穂町に設置し、広域的な消防・救急活動が行われています。
- 救急医療においては、県立延岡病院等の延岡方面への搬送件数が約2倍に増加しています。
- 道路整備による所要時間の短縮や、走りにくい箇所(急カーブ26箇所、急勾配5箇所)の回避により、搬送患者への負担が軽減されます。
- 西臼杵広域行政事務組合消防本部では、今後の高千穂日之影道路等の道路整備を見据え、救急車を新たに3台導入し救急搬送体制の強化が行われており、地域医療の向上が図られています。



関係者の声

・近年、西臼杵地域から延岡方面の救急搬送が約2倍に増加している中で、北方延岡道路や高千穂日之影道路の一部開通で搬送時間が短縮するなど、患者の負担が軽減されています。

・県立延岡病院でR3.4月より導入したドクターカーに急患を引き継ぐまでの時間が短縮され、西臼杵地域から県立延岡病院までの搬送時は、以前より大幅に重篤患者の医療処置が可能となっている。

R3.4 西臼杵広域行政事務組合消防本部ヒアリング結果